



大阪ガス

ガス給湯ユニット

取扱説明書

33-336 型

保証書付

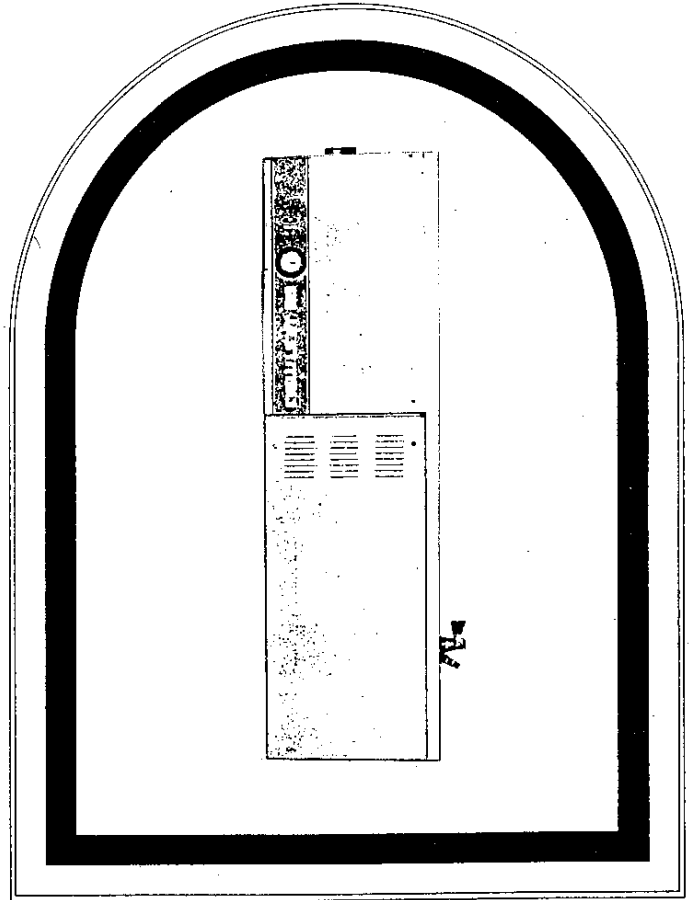
型式 FU36-02

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビル	541	大阪市東区平野町5丁目1	大阪 06 (222)2221
特産部センター	550	大阪市西区千代崎3-2-95	大阪 06 (562)0471
南支社	557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	大阪 06 (652)3001
北支社	532	大阪市淀川区十三本町3丁目9番35号	大阪 06 (531)1751
堺支社	590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	堺 0722(38)1131
北摂支社	569	高槻市岸の奥町39番6号	高槻 0726(71)3031
阪神支社	662	西宮市和上町4番11号	西宮 0798(26)3101
東部支社	578	東大阪市塔東2丁目3番17号	河内 0729(62)1131
京阪支社	573	枚方市西田宮町16番17号	枚方 0720(41)1251
神戸支社	650	神戸市中央区相生町5丁目3番10号	神戸 078(578)2231
京阪支社	604	京都市中京区丸太町西側町358	京都 075(231)3151
奈良支社	631	奈良市学園北2丁目4番1号	奈良 0742(44)1111
和歌山支社	640	和歌山市本町1丁目1番1号	和歌山 0734(21)2481
姫路支社	670	姫路市神屋町4丁目8	姫路 0782(65)2221
東播支社	675	加古川市加古川町栗津29-1	加古川 0784(21)1801
豊岡支社	668	豊岡市三坂町6丁目57番地	豊岡 0798(23)2221
湖南支社	525	兵庫県分町字荒巻680の1	姫路 0775(62)3311
徳島支社	522	徳島市大英町12番11号	徳島 0749(22)3151
(株)新宮事務所	526	長浜市両岸貝町3番4号	長浜 07498(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社



- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があれば販売店もしくは、弊社にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、ガス給湯ユニットをお求めいただき
ありがとうございました。

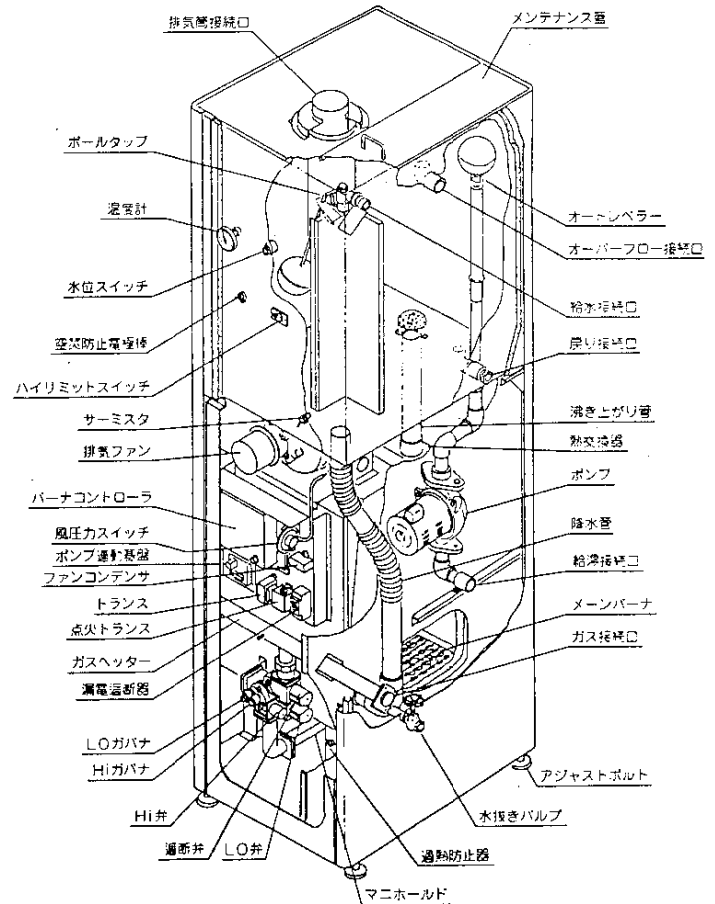
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に
保存してください。

もくじ

- 各部の名称.....2
- 特に注意していただきたいこと.....4
- 器具の設置.....7
- 使用方法.....7
- 断水時・停電時の処置.....11
- 冬期の凍結による破損予防について.....11
- 長期間使用しない場合.....13
- 日常の点検・手入れ.....14
- 故障・異常の見分け方と処置方法.....16
- 仕様一覧表.....21
- アフターサービスのお申し込み.....22

各部の名称

器具本体



各部の名称②

メインコントローラ

運転ランプ(緑)

●運転スイッチを「入」にすると点灯します。

OKモニターランプ(1)

●排気ファンの送風能力が低下すると点灯します。

OKモニターランプ(2)

●器具が異常に過熱すると点灯します。

OKモニターランプ(3)

●湯温が異常に昇速すると点灯します。

OKモニターランプ(4)

●バーナに着火していないとき、疑似火災信号を検出すると点灯します。

OKモニターランプ(5)

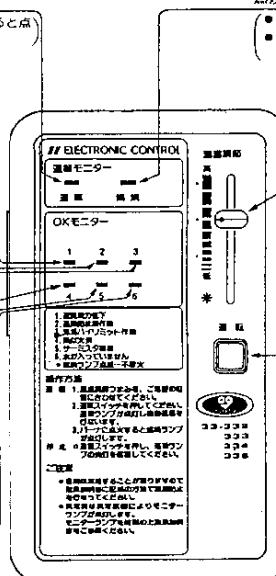
●サーミスタ(湯温検出器)回路が断線すると点灯します。

OKモニターランプ(6)

●器具内に水が入っていないと点灯します。

燃焼ランプ(黄)

●バーナに着火すると点灯します。
●失火及び途中消火しますと、点滅します。



湯温調節つまみ

●つまみを上にスライドさせると、お湯は熱くなり、下にスライドさせると、お湯は冷めくなります。
※の位置に合わせますと凍結予防になります。詳しくは11ページをご覧ください。

運転スイッチ

●運転するとき、運転から停止するときも押してください。

ご注意

- 器具に不具合が生じたとき、OKモニターランプ(1~6)が点灯し、同時にブザーが鳴りその原因を知らせます。〔但しOKモニターランプ(4)と(6)が点灯するときはブザーは鳴りません。〕
- バーナに着火しないとき、また消火したときには、燃焼ランプ(黄)は点滅し、同時にブザーで知らせます。
- 詳しくは17ページの「異常報知について」の項をごらんください。

特に注意していただきたいこと

正しく安全にお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガス・使用電源についてのご注意

- 器具の正面右下に貼付してある銘板に表示されているガスの種類およびグループ以外のガスは使用しないでください。
- 銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。必ずご確認ください。

(銘板)

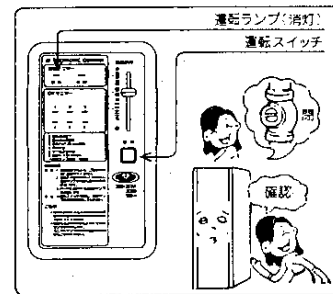
型式名

ガスの種類およびグループ
ガス消費量
電源電圧
電源周波数
製造年月および製造番号
製造業者名

使用上のご注意

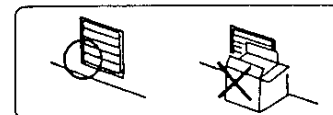
㊦ ガス漏れ予防

- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを押して、切ってください。
- 使用中にガスのおいしさが、不快においがないが、ときどき確かめてください。



㊦ 換気のご注意

- お部屋の換気口(給気口、排気口)は物などでふさがないでください。



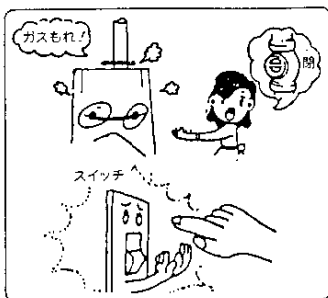
特に注意していただきたいこと②

③ ガス事故防止

① ガス漏れに気付いたときは、ただちに使用を中止して、ガス元せんを閉じ、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

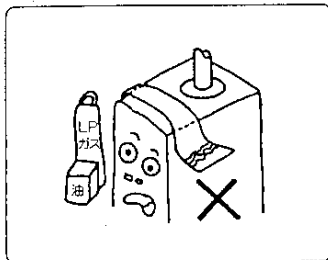
〔絶対に使用しないでください。〕

② ガスが漏れたときは絶対に火をつけない、他の電気器具にふれたり（スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。



④ 火災予防

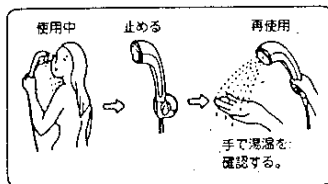
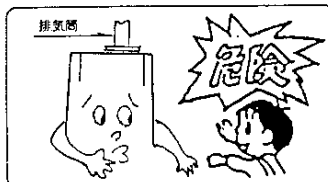
● 器具の上やそばに燃えやすいもの（洗たく物、ダンボール、揮発油など）を絶対においたり、近づけたりしないでください。



⑤ やけどのご注意

① 使用中または使用後しばらくは、湯沸器本体の排気筒近くは熱くなります。手を触れたりしないでください。

② シャワーをご使用直後、再びお使いになるときは、いきなり体や頭にかけず、手で湯温を確かめながらお使いください。



特に注意していただきたいこと③

⑥ 使用水について

● 器具にご使用になる水は、必ず水道水をお使いください。万一ほかの水をご使用になる場合でも、水道水に準じた軟水をお使いください。
(但し純水をご使用になる場合は、必ずお買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。)

⑦ 市販の補助具について

● この器具用の付属部品および別売部品以外は使用しないでください。

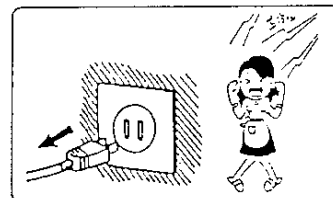
⑧ 異常時の処置

● ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは、あわてず給湯せんを閉じ、運転スイッチを切って、ガス元せんを閉じ十分な点検をしてください。(詳しくは16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項にしたがって処置をしてください。)

落雷のおそれのある時

① 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

② 雷が過ぎかかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



凍結についてのご注意

● 厳寒期には器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので、器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行ってください。(詳しくは11～13ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項にしたがって処置をしてください。)

特に注意していただきたいこと④

日常の点検・手入れ

- ① 日常の点検・手入れをしてください。(詳しくは14~15ページの「日常の点検・手入れ」の項をごらんください。)
- ② 器具が故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
このとき、ご自分で修理なさらずに、必ずお買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。


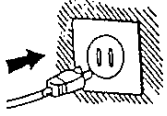
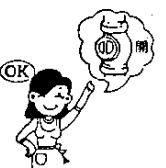
器具の設置

- ① 器具の設置、移動および付帯工事は、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼し安全な位置に正しく設置してご使用ください。
(詳しくは「設置・工事説明書」をごらんください。)
- ② この器具は屋内専用ですので屋外には絶対に設置しないでください。

使用方法

使用前の準備と確認

- 器具の操作をする前に次のことを行ってください。

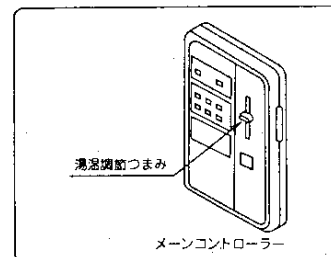
手順 1	手順 2	手順 3
<p>● 給水元せんを全開にしてください。</p> 	<p>● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。</p> 	<p>● ガス元せんを全開にしてください。</p> 


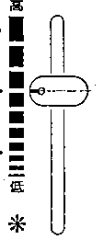
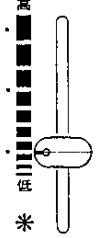

使用方法②

操作のしかた

① 湯温調節のしかた

- ① 湯温調節つまみを上にスライドさせると、お湯が熱くなり、下へスライドさせるとお湯がぬるくなります。湯温調節つまみを操作して、お好みの湯温にセットしてください。
- ② 出湯温度を合わせるめやすは下記のとおりです。



高温時(約85℃)	中温時(約60℃)	低温時(約40℃)	※印(約15℃)	
<p>湯温調節</p>  <p>高</p> <p>低</p> <p>※</p>	<p>湯温調節</p>  <p>高</p> <p>低</p> <p>※</p>	<p>湯温調節</p>  <p>高</p> <p>低</p> <p>※</p>	<p>湯温調節</p>  <p>高</p> <p>低</p> <p>※</p>	
風呂、さし湯	風呂	シャワー	洗濯、手洗	凍結予防(器具のみ)

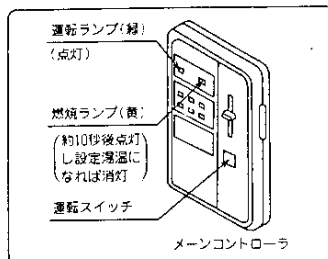
(ご注意)

- ① 市販のサーモミキシングバルブをご利用の場合は、水と混ぜてお好みの湯温にすることができますので、湯温調節つまみは高温時に合わせて使用されることをおすすめします。
- ② ※印での使用は器具本体の凍結予防のためのもので、給水、給湯配管の凍結予防については11ページ冬期の凍結による破損予防の項をごらんください。

使用方法③

② 点火

- メインコントローラの運転スイッチを押して「入」にしてください。運転ランプ(緑)が点灯するのを確かめてください。約10秒ほどで燃焼ランプ(黄)が点灯します。貯湯タンク内のお湯が設定湯温になると燃焼ランプ(黄)は消灯します。

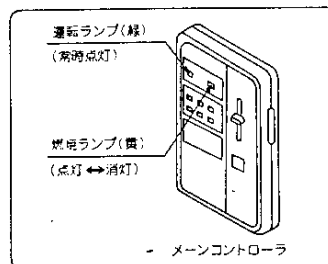


ご注意

- お湯が設定湯温になっているときは、燃焼ランプは点灯しません。
- バーナに着火しないときには、燃焼ランプ(黄)が点滅して、失火であることを知らせます。またその他の不具合が生じたときには、OKモニターランプが点灯して、その原因を知らせます。(詳しくは、17ページの「異常報知について」の項をごらんください。)

③ 出湯(お湯の出し方)

- 給湯せんを開くとすぐにお湯が出ます。(単管配管の場合は配管にたまった水が出るまでお湯は出ません。)又、貯湯タンク内の温度が設定湯温以下になると燃焼ランプが点灯します。



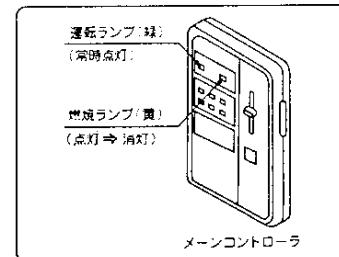
使用方法④

ご注意

- ① イージーミキシング方式の混合栓をご使用の場合は、まず水側のせんを開けてから湯側のせんを開けて、適温に調節してください。
- ② 器具に不具合が生じたときは、燃焼ランプ(黄)が点滅するか、OKモニターランプが点灯して、その原因を知らせます。また同時にブザーで異常を知らせます。但しOKモニターランプ④又は⑤が点灯するときはブザーは鳴りません。詳しくは17ページ「異常報知について」の項をごらんください。

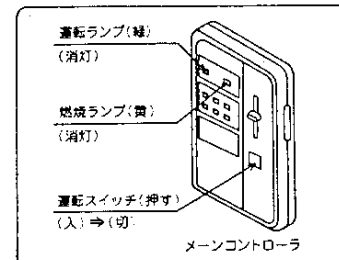
④ 出湯停止(お湯の止め方)

- 給湯せんを閉じると、お湯は止まりますが、燃焼ランプ(黄)はタンク内温度が設定湯温になるまで点灯しつづけます。



⑤ 使用後の処置

- ① メインコントローラの運転スイッチを押して「切」にしてください。すべてのランプが消灯します。
- ② 長時間使用しないときは、ガス元せんを開けてください。



断水時・停電時の処置

断水時の処置

- 断水のときは、給湯せんを開いてメインコントローラの運転スイッチを切ってください。
- 再使用するときは、7～10ページの「使用方法」の項にしたがって操作してください。

停電時の処置

- 使用中万一同電した場合は、給湯せんを開いてください。
- 再通電したときは、この器具は運転に入りません。再度使用するときは、7～10ページの「使用方法」の項にしたがって操作してください。

冬期の凍結による破損予防について

冬期には、寒冷地以外でも急な寒波のため器具内の水が凍結し、器具を破損することがあります。器具が凍結し、破損すると高額な修理費用がかかりますので、次のような処置をして器具の凍結による破損を予防してください。

湯温調節つまみを凍結予防(*印)に合わせる方法

- 運転スイッチを押し「入」にし、湯温調節つまみを凍結予防の米印に合わせてください。器具内の水が10℃以下になりますと、自動的にバーナに着火し、水温が約14℃になりますと消火します。

ご注意

- 湯温調節つまみを米印に合わせる方法は、器具本体の凍結予防のためのもので、給水給湯配管の凍結予防には効果がありません。
- 水を抜くとき以外は電源プラグを抜かないでください。

冬期の凍結による破損予防について②

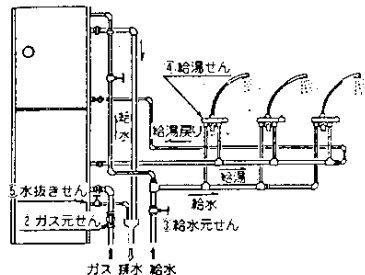
器具内の水を抜く方法

〈入居前や長期不在の場合〉

- この方法では、給水・給湯配管部分の凍結予防はできませんが、凍結から器具を守るには、最も良い方法です。

〈水抜きの手順〉

- 運転スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ガス元せんを開いてください。
- 給水元せんを開いてください。
- すべての給湯せんを開いてください。
- 水抜きせんを左に回して水を抜いてください。



ご注意

- 再び使用されるときは、水抜きせんを閉じ、給水元せんを開いて、ボールタップから水が出るのを確認してください。このとき水抜きせんから水漏れがないかを確認してください。
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込み7～10ページの「使用方法」の項にしたがって操作してください。

冬期の凍結による破損予防について③

凍結した時のご注意

- 凍結したままで、お使いになりますと、危険ですので絶対に使用しないでください。
〈ご注意〉運転スイッチが切れていることを、確かめてください。
- 給水元せん、ガス元せんをとじてください。
- 凍結が解けた後、再度お使いになるときは、次の手順でおこなってください。
- ①給水元せんを開いてください。
- ②ガス元せんを閉じたまま、運転スイッチを押し、循環ポンプを運転させてください。(この状態では、ガスが出ないため、約15秒後に燃焼ランプが点滅しブザーが鳴ります。)
- ③②の状態では、給湯せんを開き、水の出ることを確かめてから給湯せんを閉じてください。
- ④循環ポンプを運転させた状態で器具、配管などに水漏れがないことを確かめてください。
〈ご注意〉水漏れが、発見された場合、給水元せんをとじ、水漏れ修理が済むまで使用しないでください。
- ⑤運転スイッチを押し、一担OFFにした後、ガス元せんを全開にしてください。
- ⑥7ページの「使用方法」にしたがって、お使いください。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、運転スイッチを切って電源プラグを外し、ガス元せん、給水元せんを閉じ必ず器具内の水を抜いてください。水抜き方法は12ページを参照してください。

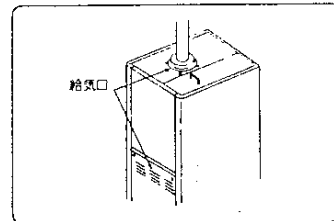
日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

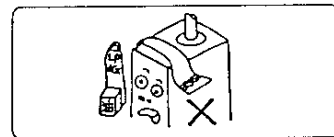
- ①点検・手入れの際には必ずガスの元せんを開め、電源プラグを抜き、器具が十分に冷えてから行なってください。
- ②ガス通路・安全装置部分は絶対に分解しないでください。

点 検

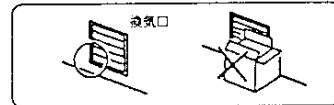
- ①器具の給気口にちりやほこりがたまっていますか？



- ②器具の上や、近くに燃えやすいものが置いてありませんか？

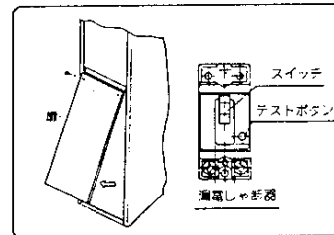


- ③部屋の給気口をふさいでしまうものが置いてありませんか？



- ④漏電しゃ断器のスイッチを「入」にしたままで、テストボタンを押し、スイッチが「切」になりますか？

(●扉は化粧ビス(2本)をはずし、扉を一担上へ持ち上げた後、下部を手前に引き、ぬぎとる。)



日常の点検・手入れ②

ご注意

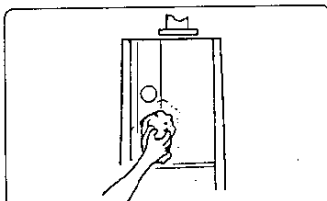
- 漏電しゃ断器のテストボタンを押し、作動を確認するときは、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでからおこなってください。
- ⑤ 器具のご使用に支障がなくても、年に1～2回ぐらいバーナや各部の作動が“正常”かどうか定期的に点検をするのが、安全で長期間使用いただくための“ひけつ”です。点検診断のご依頼は、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

お手入れ

1. 前板のそうじ

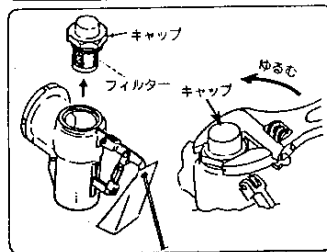
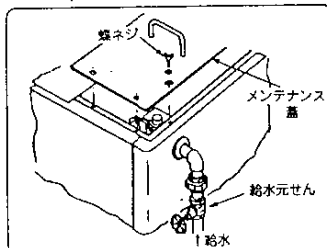
- 汚れは布又は、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとってください。
〈ご注意〉

洗剤が残らないようにふきとってください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。（器具本体の色、表示ステッカーの字などが消えます。）



2. ボールタップフィルターのそうじ手順

- ① 給水元せんを閉めてください。
- ② 上部メンテナンス蓋の取付ネジをはずし、蓋をはずしてください。
- ③ モンキーレンチ等により、ボールタップのキャップのネジをゆるめ、キャップを取りはずしてください。（キャップの下側にフィルターが付いています。）
- ④ フィルターの外面に付着しているゴミをとのぞき水洗した後、取付けてください。（キャップは本体にしっかりとねじ込んでください。）
- ⑤ 給水元せんを開け、キャップ部の水漏れの有無を確認した後、メンテナンス蓋を取付けてください。



故障、異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

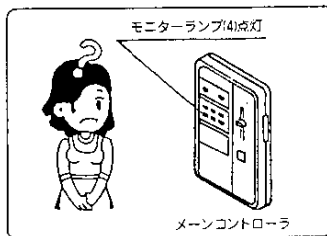
原因	OKモニター		OKモニターのランプが点灯する					OKモニターのランプが点灯しない					処置方法	
	停止盤モニター表示	が点灯せずに故障ランプだけが点灯する	1番ランプが点灯する	2番ランプが点灯する	3番ランプが点灯する	4番ランプが点灯する	5番ランプが点灯する	6番ランプが点灯する	7番ランプが点灯する	8番ランプが点灯する	9番ランプが点灯する	10番ランプが点灯する		
ガス元センが働いていない	○													運転スイッチを一旦切ってから全開にする
ガス元センの調子不十分		○												9ページ「故障例の処置」参照
停電している									○					電源プラグをコンセントに差し込む
電線プラグが抜けている										○				給水センを全開にする
水元センの調子不十分											○			8ページ「選定調子」参照
お湯の出しすぎ												○		給水給湯センを開き過ぎる
器具に水が入っていない													○	
漏電しゃ断器が作動														○
ヒューズが切れている														○
ガストレーナーのつまり				○										○
供給ガス圧が低い														○
ボールタップフィルターのつまり														○
水圧が低い（水量不足）														○
循環ポンプ不良又は寿命														○
水位スイッチ不良														○
運動器不良														○
スパークロッド、フレームロッドの絶縁不良又は汚れ	○	○	○											
ファン不良又は寿命														○
過熱防止器作動														○
過熱ハイリミット作動														○
サーミスタ断線														○
バーナコントローラ不良	○	○	○											○

点検又は
修理部品交換を
依頼する

故障・異常の見分け方と処置方法④

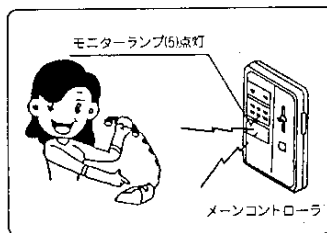
⑥ 疑似火災検出装置

バーナに着火していないにもかかわらず、疑似火災信号を検出したときは、この安全装置が働いて、自動的にガス弁を開かないようにします。同時にOKモニターランプ(4)を点灯させて、お知らせします。但し、プザーではお知らせしません。



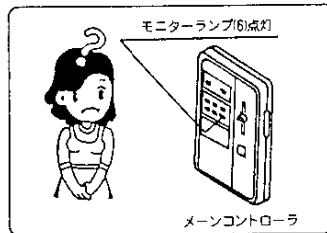
⑦ 湯温検出器(サーミスタ)断線検出装置

万一使用中、湯温をコントロールする、サーミスタ回路が断線したときは、この安全装置が働いて、自動的にガス弁を閉じて、OKモニターランプ(5)を点灯させ同時にプザーでお知らせします。



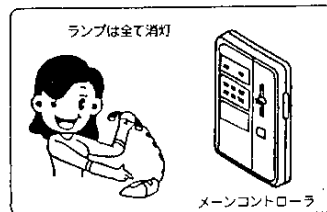
⑧ 空焚防止装置

万一、器具への給水を忘れて器具内に水が入っていないときは、この安全装置が働いてバーナには着火させずに、OKモニターランプ(6)を点灯させて、お知らせします。但しプザーではお知らせしません。



⑨ 漏電しゃ断装置

万一使用中、器具内の電気部品から電気が漏れたときは、この安全装置が働き、ガス弁を閉じるだけでなく、他の電気機能も全て停止します。



故障・異常の見分け方と処置方法⑤

《ご注意》

器具の電源がしゃ断されますので、異常報知はおこないません。

■ 処置方法

- ① 17ページの「異常報知について」の項をごらんになり、異常原因に応じた処置をしてください。
- ② 漏電しゃ断装置が作動したときには、ガス元せんを閉じ、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービステーションにご連絡ください。

仕様一覧表

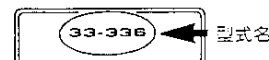
品名	ガス給湯ユニット		
型式の呼び	33-336型		
種類	貯蔵湯沸器		
給排気方式	強制排気式(FE方式)		
点火方式	連続スパーク点火・ダイレクト着火		
貯湯量	190ℓ		
伝熱面積	0.63㎡		
ガス消費量	都市ガス 45,000kcal/h LPガス 3.4kg/h		
重量	135kg (満水時 325kg)		
外形寸法	本体高さ	本体幅	本体奥行
	1870	× 550	× 664
接続	給水	20A (PT 3/4メネジ)	
	給湯	往管 25A (PT 1メネジ)	復管 15A (PT 1/2メネジ)
	ガス	25A (PT 1メネジ)	
	オーバーフロー	25A (PT 1メネジ)	
	排水	20A (PT 3/4メネジ)	
	排気筒径	100mmφ	
電気関係	電源	単相 AC 100V	
	消費電力	300W	
	電源コード長さ	左取り出し約2m	
湯温調節範囲		約35~85℃	
85℃に沸き上がり時間	水温5℃時	27分	
	水温20℃時	20分	
安全装置	パーナー安全装置(フレームロッド方式) 漏電しゃ断装置(漏電しゃ断器 15mA) 空焚防止装置(電極棒による水位感知式) 温水過熱防止装置(バイメタル 100℃) 器体過熱防止装置(バイメタル 125℃) 送風能力低下検出装置(風圧カスイッチ ON 12mmH ₂ O OFF 8mmH ₂ O) ポンプ空運転防止装置(レベルスイッチ)		
付属品	操作盤、器具固定金具(2ヶ)、ワッシャー(2ヶ)		
別売部品	操作盤ケーブル線、転倒防止金具		

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16~20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 器種名……(ガス給湯ユニット)
- (2) 型式名……(器具の前面下に貼ってある銘板をごらんください)
- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)



転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、器品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認の上、お買い求めの販売店、またはガス供給業者にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。この器具は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。なお、メーカーは、販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。
 - 補修用性能部品の最低保有期間は製造切後7年です。
- ※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。